

警察署協議会会議録

飯塚警察署協議会

開催年月日時	令和6年11月5日 午後4時00分 から 令和6年11月5日 午後5時20分 まで	
開催場所	飯塚警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下8名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、警備管理官、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、地域第二課長、交通課長、事務局（15名）
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 本日は、飯塚警察署協議会委員の皆様、飯塚警察署の皆様には大変お忙しい中御参加いただき、感謝申し上げます。 ○ 首都圏で闇バイトによる強盗が多発しており、会合等では高齢者の不安の声が聞かれる。また、闇バイトに応募した互いに面識のない中高生が地方に来て強盗をしようとして捕まったという報道を見たが、このようなことを中高生がすることが信じられないという思いであるとともに、事件が地方に広がりつつあることを不安に思う。警察には実行犯・指示役の検挙に力を入れていただきたいと思う。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 本日はご多忙中のところ、御参加いただき御礼申し上げます。 ○ 飯塚警察署の治安情勢は、皆様のご支援・ご協力により平穏に推移しているが、匿名・流動型犯罪グループによる強盗事件等が大きく報道されて以降、不審者に関する通報が増加している。住民の皆様の不安を除くべく迅速に対応していきたい。 ○ 今回、若手警察官の抱負発表を議題の一つとしているが、民間企業から転職して警察官になった熱い思いを聞いていただきたい。 ○ 委員の皆様にはそれぞれの目線での様々な意見をお願いしたい。 【報告事項】 1 SNS型投資・ロマンス詐欺について 2 交通事故について 3 若手警察官の抱負発表 【質疑応答】		

議 事 概 要

○ 委員から「不審者の通報があった場合、警察から付近住民等への情報提供はなされるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「不審者の通報全てを情報提供することは難しい。」旨の回答があり、署長から「不審者情報を精査し、内容に応じて情報発信していきたい。」旨の回答があった。

○ 委員から「SNS型投資詐欺とロマンス詐欺の違いは何か。飯塚警察署管内ではどちらが発生しているのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「ロマンス詐欺は恋愛感情に基づく被害である点が投資詐欺とは異なる。SNSを利用したロマンス的な話から嘘の投資話に誘導される場合も多い。管内では投資詐欺・ロマンス詐欺のどちらも発生している。」旨の回答があった。

【飯塚警察署の業務運営に対する意見要望等】

○ 委員から「学校等で自転車のヘルメット着用を促進するのはどのような方法があるか。」旨の質疑があり、交通課長から「高校生のヘルメット着用促進については『リーダーズグランプリ』と称する生徒主導の施策を推進しているところであるが、具体的な促進策としては、登下校・出退勤時の呼びかけや動画視聴・イベントの開催等の『教育と広報』、ヘルメット保管場所の設置や着用のルール化等を行う『環境と条件』、警察官の派遣や学校等の指導的立場にある者による、現場における『交通指導』等の方法がある。これらの方法は密接に関係しており、把握した問題点を改善しながらバランスよく実施する必要がある。」旨の回答があった。

○ 副会長から「自転車のヘルメット着用促進は、公共交通機関内で動画を流してもらうような働きかけを行うなど、家庭や自治体を巻き込む方法もあると思う。」旨の意見があった。

○ 委員から「若手警察官の育成はどのように取り組んでいるのか。」旨の質疑があり、地域管理官から「男女問わず、警察官になって5年未満の者を職務質問専従班に指定し、若手警察官だけの実践の場を与えている。交番の受け持ちだけでなく、管内全体の治安情勢を情報収集する等、若手警察官が自ら考え行動することにより、警察官としての自主性や積極性を養い一人前の警察官としての成長を促す施策である。一つの事例として、女性を職務質問し、行方不明届がなされた者であることを判明させ家族に引き渡したものがある。女性は職務質問に対し別人の氏名を名乗る等していたが、若手警察官のやる気と粘り強い職務質問により行方不明届の出ている者であることが確認できた。被疑者の検挙ではないが本施策の副次的効果が得られた好事例である。」旨の回答があった。

○ 副会長から「飯塚駅前に大型商業施設が開業し、事件事故が増加していると聞くが、警察署はどのような対策をしているのか。」旨の質疑があり、地域管理官から「管轄である飯塚駅前交番の事件事故等の発生は増加している。管轄交番の体制を増員強化し、隣接交番との応援体制も強化している。」旨の回答があった。